

## 令和 2 年度事業計画

令和 2 年度の日本経済は、政府の経済対策等を背景に雇用・所得環境の改善が続き、基本的に緩やかな回復基調をたどると見込まれていたが、1 月下旬以降の新型コロナウイルスの感染拡大が経済に大きなマイナスの影響を与えると予想される。

一方、私立大学の令和元年度入学定員割れ状況は、平成 28 年度から段階的に実施されている大学規模別の入学定員管理の厳格化もあり、前年度に比べて 16 校減少し、全体に占める割合も 3.1 ポイント改善し 33.0%となった。しかしながら、平成 30 年からは 18 歳人口の継続的減少が始まっており、私立大学を取り巻く経営環境は一層厳しい状況を迎える。

大学においては、志願者増並びに入学者確保の施策として、県外の高校への訪問機会の増加、オープンキャンパスの充実や広報媒体の見直し・拡充など、広報活動を強化した結果、令和元年度入学生は平成 28 年度から 4 年連続して入学定員を確保するとともに、平成 30 年度に引き続き収容定員を確保することができた。改組再編により 3 学部 8 学科体制でスタートする今年度も学生の安定的確保を最優先課題として全学を挙げて取り組み、安定した志願者・入学者を確保し、在籍者数の増加を図っていくこととする。

教学面では、個別指導等によりきめ細かな学修支援を実施し、学生の学力を高め留年、休・退学者の削減を図る。また、全学 IR<sup>1)</sup> データベースの構築等、IR 環境の整備・充実を図るとともに、外部アセスメントテストを導入し、学修成果等の可視化・活用を推進する。これらにより、内部質保証の実質化を強力に推し進め、本学の魅力向上を図ることとする。さらに、異分野融合型のプロジェクト研究や本学の特色を明確に打ち出す「東北工業大学 SDG s<sup>2)</sup> 研究実践拠点」事業並びに地域のニーズを取り入れ産学連携による社会実現を目指す「プロジェクト研究所」事業を引き続き推進し、研究活動の活性化を図ることとする。

高校においては、平成 28 年度から 3 年連続して入学定員を、平成 29 年度から 2 年連続して収容定員を確保してきたが、令和元年度は入学定員及び収容定員ともに確保することができなかった。今年度は、戦略的な広報活動により特色ある教育活動や魅力を伝えることにより、志願者・入学者を確保するとともに、外部評価や学校評価アンケートの実施により教育活動・生徒支援の充実に努めていくこととする。

教学面では、令和 3 年度スタートの新学習指導要領に合わせ、各学科に設置した検討 WG で教育内容の検討を進めることとする。また、授業評価結果の積極活用や各種研修への参加機会を拡充するなどし、教員の教科指導力の向上を目指すこととする。

今後の教育研究環境を整備していくため、今年度も主たる収入財源である学生生徒等納付金収入と補助金収入を確保するとともに、厳正な予算執行に努め、財政基盤の確立に取り組むこととする。また、八木山キャンパス整備基本計画に従い、令和元年度に着手した新棟一期工事の実施設計に本格的に取り掛かることとする。なお、今年度は中期計画「TOHTECH2023」の 2 年目にあたり、掲げた施策を着実に実行していくこととする。

## I 事業計画の内容

### 1. 大学部門

#### (1)教育

- ア. AI等教育の推進
- イ. 休退学防止の更なる推進
- ウ. 学生受け入れ
- エ. 広報活動の推進
- オ. 教育の質保証
- カ. 学生満足度の向上
- キ. キャリア教育・就職支援
- ク. 課外活動支援の推進

#### (2)研究

- ア. 東北 SDGs(Sustainable Development Goals)研究実践拠点形成事業の推進
- イ. 研究支援・プロジェクト研究所の推進
- ウ. 研究リスクマネジメントの推進
- エ. 大学院の強化

#### (3)社会貢献

- ア. 地域社会貢献の推進
- イ. 一番町ロビーの活用推進

#### (4)研究支援・地域連携における運営体制の強化

#### (5)ガバナンス

- ア. 教学マネジメントの推進
- イ. FD・SD 活動の推進

#### (6)施設設備

- ア. 基盤サーバシステム及び統合演習システムの更改
- イ. アクティブラーニング等多目的教室の拡充
- ウ. 教育用大型機器備品の更改

#### (7)連携・交流

- ア. 高大接続の強化
- イ. 国際交流活動
- ウ. 後援会・同窓会との連携強化

### 2. 高校部門

#### (1)教育活動の充実

- ア. 基礎学力の定着・向上
- イ. 教科指導力の向上
- ウ. ICT(情報通信技術)教育の推進
- エ. 3学科の教育内容の更なる充実・発展
- オ. 生徒が生き生きと活動できる学校づくり
- カ. 東北工業大学との連携と進学者確保

- (2)生徒支援の充実
  - ア. 資格取得に向けた指導の充実
  - イ. 進路指導の充実
  - ウ. 多様な生徒への教育支援の充実
- (3)地域連携・貢献への取組み
- (4)学校運営
  - ア. 生徒募集に向けた戦略的活動の実践
  - イ. 校内組織体制の改善
  - ウ. 教育の質保証
- (5)計画的な事業予算の策定と運用
  - ア. プロジェクターの更改
  - イ. 校用車の更改
  - ウ. 複合機の一斉更改
  - エ. 施設設備の状況把握と年次計画の策定

### 3. 法人部門

- (1)収入の確保
- (2)支出の抑制
- (3)事務職員賃金制度の改定
- (4)施設・設備の改修
- (5)八木山キャンパス整備基本計画の推進
- (6)寄付金募集事業計画